



※学校だよりのタイトル『羽ばたく』は、甲府市出身の宮沢和史さんに作詞作曲していただいた、舞鶴小学校の校歌の歌詞の一節です。「ふるさとを愛し、羽ばたく子に」になって欲しいとの願いをこめてタイトルとしました。

保護者、地域の皆様、子ども達に支えられて

本校は、甲府の子どもの教育総合推進校として子ども達の「思い遣る心」の醸成に取り組んでいます。「思いやり」は行為として目に見ることはできますが「思い遣る心」は見ることができず、たまたま何かの機会に「心」が自然と表れた瞬間（発露）を見ることがあります。

5年生がトイレを出る場面に出くわしたとき、子ども達が、スリッパを次の人のために揃えていたので「さすが、5年生素晴らしいね」と思わず言葉が出ました。そして、そのまま1年生のトイレにさしかかると、1年生の女子が、誰も見ていない中で、自分のスリッパだけではなく、他の人が使って少し乱れていたスリッパを揃えていました。その子に「誰も見ていない中で、みんなのためにしてくれてありがとう」と話したとき、その子が見せてくれた笑顔は天使のようでした。ふと金子みすゞの詩「星とたんぽぽ」の一節「見えぬけれどもあるんだよ、見えぬものでもあるんだよ。」を思い出しました。

1人1台端末に向けて

国の「GIGA スクール構想」をもとに、本校では市からすべての子どもたちに配当された1人1台端末の活用に取り組みはじめています。テレビや小説の中で描かれていたモバイルパソコンを使っての授業が現実になりつつあります。



とはいうものの「ノートなし、教科書なし、全てモバイルパソコンで...」という使い方ではありません。子ども達が字を書いたり、実際に手を使って考えたりすることは小学校段階では特に大切です。黒板を使って書く、友達の意見を聞くといったこれまでの学習に、筆箱や分度器、コンパスなどの文房具と同じ感覚で、モバイルパソコンという新しいツールが加わったと考えてください。

5年生は社会科の「国土の気候と地形の特色」の学習で、6年生は総合的な学習の時間「世界環境問題」の学習で、それぞれ情報を収集する手段として使用していました。1人1台端末の活用方法は、「調べたり、まとめたり、情報交換し合ったり」と多岐にわたると思いますが、学年の発達段階や学習内容を見ながら、子ども達に適した使い方を考えていきたいと思っています。

ありがとう おまわりさん、旗振りのみなさん、地域の皆さん

平和通りに架かる甲府警察署前の歩道橋が7月末まで使用できなくなったことから、歩道橋を使用する登校班については、通学路を変更することになりました。いくつかの班は、スクランブル交差点から防災新館西の横断歩道を通ることになったため、旗振り当番、駅前交番、なでしこガーディアンの方に相談したところ、当番の方には防災新館西の交差点で旗振りを、駅前交番のお巡りさんには、できる範囲でスクランブル交差点での安全指導を、なでしこガーディアンの皆さんには通過児童が増える中で引き続き信金東側での安全指導をお願いすることができました。



舞鶴小は、多くの皆様に支えられていると改めて感じました。「駅前交番の皆さん、地域の皆さん、保護者の皆さんありがとうございます。」子ども達の安全確保のため、これからもご指導とご協力をお願いいたします。



児童会「チャレンジ集会」

縦割り活動の一環として班ごとにゲームを設定し「チャレンジ集会」を実施しました。店番をする子と、他の班が用意したアトラクションに参加する子に分け、交互に教室を回ります。おにいさんやおねえさんとペアになって、ボールを投げたり、ほうきをバランス良く持ち上げたり、と様々なアトラクションに楽しそうに参加していました。



これまで地域の中で自然に行われていた異学年の活動が減ってきた現在において、縦割り活動は「責任感や自主性、将来の自分の姿」などを育む良い機会だと思います。異学年集団だからこそ味わえる楽しさや喜びを感じながら「思い遣る心」を醸成して欲しいと思います。

プール開き

「水泳指導」は、三密を避けるため、これまでのような「自由時間」はありません。また、移動などに時間がかかるため回数も少なくなりました。しかし、水難事故に巻き込まれないよう「自分の命を守るために水を知る」ことを目的とし、「水は重いもの、体は水に浮くもの、体を上手に動かせば泳ぐことができること」を体感する授業を行います。



職員は、万が一のことがないように事前に救命救急法講習会に参加し、市の防災課の方から救命救急法を学びました。避難訓練と同様に、やはり訓練が訓練で終わることが一番だと思います。

「プール開き」は、天候と6年生のスケジュールを見ながら実施しました。プールには、市のガイドラインに基づき2m間隔となるようペンキで待機する場所の印を付け、熱中症対策のためにテントを増設、マスクの付け外しと保管がプールサイドで容易にできるようにS字フックをフェンスに付けました。晴天でなかったのが残念でしたが、さすが舞鶴小の6年生、2年ぶりの水泳であっても先生の指導のもと、落ち着いてしっかりと泳ぎ初めをしてくれました。

夏休みは、安全管理の徹底が不可能なため、残念ながらプール開放を行いませんが、ご理解とご協力をお願いいたします。

三校連携「あいさつ運動」

舞鶴小と池田小、西中は同じ西中学区として三校連携活動を行っています。継続指導の視点は「あいさつ・ききかた・おもいやり」ですが、22～24日には、三校が日を合わせて第1回目の「地域連携あいさつ運動」を行いました。保護者のみならず「なでしこガーディアン」や自治会長さんなど地域の方も含め、3日間でのべ32名の方に参加していただきました。地域の方には、普段から子ども達への声かけや見守りをいただいておりますが、これからも子ども達の健全な育成のため、ご支援とご協力をお願いいたします。



校外学習「2年生」

2年生は、バスを利用して「山梨県立科学館」にきました。残念ながら遊具は改装中のため使用できませんでしたが、展望台から見た甲府盆地はとても広くて、「あれが○○かなあ」などと言いながら展望を楽しんでいました。科学館では、去年は使えなかった実験道具を使うことができたので、自然や科学の不思議などを体験することができました。お昼ごはんを食べた後は、実験工作室で「カラフルスライム」を作って遊びました。2つの色を混ぜると別の色に変わる不思議さを体験しました。

